

行俊社長、非破壊検査国際会議で招待講演

昨年12月、台湾の首都台北で開催された「第8回アジア・太平洋非破壊検査国際会議」において、当社社長の行俊照夫が招待講演を行いました。ここではその模様をレポートします。



【写真】講演する行俊社長

■300名の技術者が参加

この会議は、アジア・太平洋地域の非破壊検査に関する国際会議で、3年毎に開催されているものです。今回の第8回会議は台北市内のTICC(台北国際会議センター)を会場に、12月11日から14日まで4日間にわたって開催されました。環太平洋の諸国を中心に世界各国から300名の技術者が参加。活発な発表と議論をくりひろげました。

■行俊社長、英語で講演

行俊社長への招待講演依頼は、従来から交流のあった台湾の工業技術研究院を通じて打診があり、正式には昨年夏、台湾非破壊検査協会会長の胡博士から要請を受けたものです。行俊社長の講演は、会議の

2日目に、“Life Assessment of Materials for High-temperature Plants by Non-destructive Methods”(非破壊検査法による高温プラント用材料の寿命診断)と題して英語で行われました。

■材料の寿命診断実績を紹介

講演内容は、日本の火力発電所における高温用材料の寿命診断手法と、電力会社から当社に委託された研究成果の一部を紹介したものです。当日は朝一番の講演だったにもかかわらず、80名ほどの参加者で会場はほぼ満員。大変な注目を集めて、材料の寿命診断技術に対する当社の積極的な姿勢を強くアピールすることができました。

話 T O P I C S 題

犬伏主任、熱処理技術奨励賞を受賞



当社材料評価部の犬伏主任が、この度、日本熱処理技術協会の

「熱処理技術奨励賞」を受賞しました。住友金属工業に入社以来、33年の長きにわたって熱処理マン一筋に仕事に励み、熱処理技術の発展に尽力されてきた賜と関係者ともども喜んでます。この間、通常の熱処理はもとより、長時間時効、真空熱処理、雰囲気熱処理など種々の業務に携わり、処理方法や装置および治具の改善に努め

てられました。「今後は、さらに後継者の育成にも努めてゆ

きたい」と語る犬伏主任の、なお一層の活躍が期待されます。

尼崎ラボラトリー、移転

当社の尼崎ラボラトリー(物性測定部門)は、今年5月末から6月上旬にかけて、現所在地(尼崎リサーチインキュベーションセンター)から本社地区(尼崎市扶桑

町)に移転し、試験内容を一段と充実させるよう計画しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。なお、新しい電話とファックス番号は次のとおりです。

TEL 06-489-5703 FAX 06-489-5959

クイズ Q U I Z これなーに? 破面

鉄は私たちの生活と深い関わりをもっています。ちょっとまわりを見渡しただけでも、自動車、家庭電化製品、土木建築現場、鉄道車両等々、日常生活と密接につながっています。強く、丈夫で、

長持ちする鉄は、非常に重宝がられているのです。しかし、その鉄も完全無欠ではありません。時として、割れたり、折れたりします。鉄の破壊に際してはその原因が調査されますが、調査の重要なポイントとして、破面すなわち破壊した鉄の表面を調べる方法があります。本誌でも、No.2、No.4、No.6~9号で破面の解析方法について取り上げています。今回のクイズでは、その破面の種類を当ててもらおうことにしました。写真①~④の破面は、A~Dのどの破面に対応しているのでしょうか。本誌のバックナンバーを参考にして、下記1~4の中から正解を選んでください。

A 延性破面	C 粒界破面
B 脆性破面(擬へき開破面)	D 疲労破面

1 ①とB ②とA ③とC ④とD
 2 ①とB ②とC ③とD ④とA
 3 ①とC ②とD ③とA ④とB
 4 ①とC ②とB ③とD ④とA

●担当者メッセージ欄

部/事業所/ラボラトリー

TEL

FAX